

## TrypLE™

TrypLE は、動物由来成分を含有しないブタトリプシン代替品で、微生物発酵により得られる組み換え酵素です。本製品は、接着性細胞株をプラスチック製容器から剥離するために用いられます。TrypLE は、無血清培養系および血清添加培養系のいずれにおいても、培養細胞を剥離できることが証明されています。

内容	カタログ番号	内容量
<b>TrypLE™ Express</b> 安定なトリプシン様酵素、フェノールレッド不含	12604-013	100 mL
	12604-021	500 mL
	12604-039	20 x 100 mL
	12604-054	5 L
<b>TrypLE™ Express</b> 安定なトリプシン様酵素、フェノールレッド含有	12605-010	100 mL
	12605-028	500 mL
	12605-036	20 x 100 mL
	12605-093	5 L
<b>TrypLE™ Select</b>	12563-011	100 mL
	12563-029	500 mL
<b>TrypLE™ Select</b> 10×	A12177-01	100 mL
	A12177-02	500 mL
	A12177-03	20 x 100 mL

### 使用目的

**TrypLE Select** : 研究用、または細胞培養技術を応用した製造用です。注意：ヒトまたは動物の診断や治療に使用することはできません。

**TrypLE Express** : 研究用です。注意：ヒトまたは動物の診断や治療に使用することはできません。

### 注意

TrypLE は 15~30°C で保存してください。また、PET ボトル中では 2~8°C でも -5~-20°C でも保存可能で、最長で 24 カ月間安定です。

5 L の汎用バッグに充填された TrypLE は、2~8°C でも保存可能で、最長で 24 カ月間安定です。

TrypLE 製品は、1 mM EDTA 含有 DPBS 中に溶解しています。

### 保存

15~30°C で遮光保存。

### 使用期限

24 カ月間

### 使用法：

TrypLE は、お客様の既存のプロトコールにおいて、トリプシンの直接的な代替品として使用できます。

TrypLE 10×ストック溶液は、強力な接着性を有する接着依存性細胞株の剥離を目的としてデザインされており、細胞型に応じて 10 倍濃縮のまま、または様々な濃度に希釈して使用することができます。また、1×に希釈すると、プラスチック製容器で培養した一般細胞株の剥離に用いることも可能です。

TrypLE は次の手順で使用します。個々の系に用いる最適な条件および濃度は、経験的に決定する必要があります。

### 継代培養および剥離の手順：

1. TrypLE および完全増殖培地を、使用前に 37°C に温めます。作業時間は極力短くしてください。
2. ピペットを用いて使用済み培地をフラスコから除去し、廃棄します。
3. カルシウムおよびマグネシウム非含有ダルベッコリン酸バッファー (DPBS) (カタログ番号 14190) 5 mL を用いて、細胞表面を洗浄します。DPBS を除去し、廃棄します。

4. 適量(例:75 cm<sup>2</sup> フラスコに 5 mL)の TrypLE をフラスコに添加します。フラスコを全方向に傾けて、TrypLE が細胞シート上に均等に行き渡るようにします。
5. 細胞が剥離するまで 37°C でインキュベートします (5 分おきに観察)。フラスコを静かに叩いて、細胞を剥離させます。
6. 5~10 mL の完全培地をフラスコに添加します。フラスコを全方向に傾けて、フラスコを十分にリンスします。細胞懸濁液を 15 mL のコニカルチューブに移します。
7. 100×g で 5~10 分遠心します。
8. 上清を廃棄し、細胞を 2~5 mL の完全培地で再懸濁します。
9. 生細胞数および総細胞数を測定します。
10. 細胞型に応じて、通常のプロトコールに従って、播種、インキュベート、継代を行います。

注: ダイズトリプシン阻害剤の使用は推奨されません。

#### TrypLE 10× の希釈手順

1. 4.162 g の EDTA (エチレンジアミンテトラ酢酸) を 100 mL の蒸留水 (カタログ番号 15230) に添加して 100× EDTA 溶液を調製します。十分に混合し、無菌的にろ過します。
2. 1 mL の 100× EDTA 溶液 (ステップ 1) を 99 mL のカルシウムおよびマグネシウム非含有ダルベッコリン酸バッファー (DPBS) (カタログ番号 14190) に添加して、DPBS/1 mM EDTA バッファーを調製します。

3. TrypLE Select 10× を DPBS/1 mM EDTA バッファーに 1× 濃度になるように (1 : 10 で) 希釈します。

4. 細胞を継代および剥離させます。「**継代および剥離の手順**」をご覧ください。

#### テクニカルサポート

製品安全データシート (MSDS)、分析証明書など、製品および技術情報の詳細については、当社ウェブサイト [www.invitrogen.com](http://www.invitrogen.com) をご覧ください。さらにサポートが必要な場合には、テクニカルサポートチーム [jptech@lifetech.com](mailto:jptech@lifetech.com) までメールでお問い合わせください。

TrypLE™には Novozymes 社(デンマーク)で製造された酵素が含まれています。

TrypLE™はライフテクノロジーズ社の登録商標です。

April 2010

Form No. 3963